

災害援護資金借入申込書

被災証明書または罹災証明書の災害名を記入してください。

(申込者所属市町村長経由)

Main application form containing personal information, household details, disaster damage assessment, and financial statements.

被害の程度に応じた限度額以内の額を記入してください。住居の被害と家財の被害が重複した場合は、住居の被害の限度額以内の額となります。

Table showing reference loan limits (参考借入限度額) for different types of damage and household status.

住居を建て直す際の残存部分の取壊し等特別の事情がある場合は、()の額。

月間の支出額

①住宅ローン、自動車ローン、借金などがあれば記入してください。②金額は、借入申込日現在の残額を記入してください。

従兄弟・会社同僚など

同額となること。

「借入申込額」と同額。

貸付限度額の特例の対象となる「特別の事情(損壊した住居の残存部分の取壊し等)」があれば、この()欄に必ず記入してください。例) 補修が困難

①被害の種類は、市町村が発行した被災証明書または罹災証明書により該当するものに○を付けてください。②世帯主の負傷は、療養期間がおおむね1か月以上ある場合です。③賃貸住宅でも住居の滅失・流失や半壊・全壊による取り壊しのため、引き続き居住できない場合は対象となります。

据置期間は、原則として3年です。次のいずれかに該当する場合は、据置期間を5年にすることもできます。①当該災害により世帯主が死亡したときまたは世帯主が障害者となったとき ②生活保護を受けている世帯または市町村民税非課税世帯 ③当該災害により、住居が全壊・滅失・流失したとき

申込者は、被害を受けた世帯の世帯主です。

上記に記載した月収の合計額

連帯保証人の要件 ①能力者(未成年者、成年被後見人、被保佐人、被補助人以外)であること ②弁済の資力を有すること ③原則として、同一の市町村に居住していること (同一の市町村に保証人となるべき方がいない場合はこの限りではない。) ④借入申込者と同一の世帯の方でないこと ⑤災害援護資金の借入申込者ではないこと ⑥すでに災害援護資金の貸付に関し連帯保証人となっていないこと

借入限度額の特例の対象となる「特別の事情(損壊した住居の残存部分の取壊し等)」があれば、この欄に必ず記載してください。例) 解体費 に 3,000,000円

様式第1号(裏) 必ず記入してください。

Back of the application form, detailing property damage and household assets.

表面の「被害の種類」が「5 住居の全体が滅失」の場合は、ここに「滅失」または「流失」と記入してください。

Declaration and signature section of the application form.

Notes (注) regarding the application process, including requirements for supporting documents and the role of the municipal clerk.